

情報通信審議会 情報通信技術分科会
電波利用環境委員会 CISPR D 作業班(第9回)

議事要旨

- 1 開催日時：令和6年11月20日(水) 10:00~11:30
- 2 開催場所：Web会議開催(Cisco Webex)
- 3 出席者(敬称略)

【構成員】塚原主任(JQA)、野島主任代理(トヨタ自動車)、井山構成員(NTTドコモ)、永野構成員(ARIB)、橋本構成員(NHK)、前田構成員(JQA)、水谷構成員(日野自動車)、三塚構成員(TELEC)、吉田構成員(本田技研)

【関係者】久保田氏(TELEC)

【事務局】総務省：今泉監視官、郷藤係長(記)

議事要旨

(1) CISPR D 小委員会 ブダペスト会議 総会 審議結果について

D小委員会 ブダペスト会議 総会の審議結果について、塚原主任より資料9-1-1、資料9-2-2に基づき説明が行われた。特段質疑はなかった。

(2) CISPR D 小委員会 ブダペスト会議 WG1 審議結果について

D小委員会 ブダペスト会議 WG1の審議結果について、水谷構成員、吉田構成員より資料9-1-2、資料9-2-1及び資料9-2-2に基づき説明が行われた。質疑応答は以下のとおり。

三塚構成員：項目6.2 WPTのタイヤ下スペーサーとはどのようなものか。

水谷構成員：WPT充電時の測定ということで、1次コイルを下に敷くが、暗室で測定する場合、車両を持ち上げる必要があり、そのためのスペーサーである。

三塚構成員：情報共有であるが、CISPR 16では測定器の対応が難しいため、現状では40GHzまで拡張する方針となっている。

また、アンテナ構成のところ、ニアフリーフィールドのアンテナファクターとは、自由空間アンテナ係数とは異なるのか。

水谷構成員：リースペースのアンテナファクターを使うことになっているが、CISPR 12ではアンテナ高さを固定しているので、不確かさを考慮したときに大地とのカップリングを考慮する必要があると意見があり、リースペースではなくニアフリーフィールドとなった。ただ、ニアでは詳細が分からないので、さらに議論が必要とされている。

三塚構成員：D小委員会の中での校正の話で、CISPR 16の校正とは別という理解でよいか。

水谷構成員：第6版では、CISPR12固有の校正方法を採用していたが、第7版からは、CISPR16やANSIの校正方法採用している。ただし、測定時のアンテナ高さが固定であるため、CISPR12固有のアンテナ校正方法の議論が必要になる可能性がある。

三塚構成員 : 承知した。また、プリアンプは内臓のものを指しているのか
水谷構成員 : 外付けのプリアンプを指している。

(3) CISPR D 小委員会 ブダペスト会議 WG2 審議結果について

D 小委員会 ブダペスト会議 WG2 の審議結果について、前田構成員より資料 9-1-3 に基づき説明が行われた。特段質疑はなかった。

(4) CISPR D 小委員会 ブダペスト会議 JWG Site Val 審議結果について

D 小委員会 ブダペスト会議 JWG Site Val の審議結果について、野島主任代理より資料 9-2-4 及び資料 92-2 に基づき説明が行われた。質疑応答は以下のとおり。

三塚構成員 : 6.2 において±90 とあるが、単位は何か。
野島構成員 : ±90%である。

(5) 電波利用環境委員会報告(案)について

電波利用環境委員会報告(案)について、塚原主任より資料 9-2-1 及び資料 9-2-2 について、12 月又は 1 月に開催される次回電波利用環境委員会にて報告することが説明された。

(6) その他

次回作業班については、事務局より別途連絡する。

以上